

心 (太田 清和 日本ファースト証券専務)

私の好きな一文字

# 先物協会ニュース

## JCFIA マンスリー

JCFIA JAPAN COMMODITY FUTURES INDUSTRY ASSOCIATION

発行 日本商品先物振興協会 〒103-0016 東京都中央区日本橋小網町9-9 TEL(03)3664-5731 FAX(03)3664-5733

http://www.jcfia.gr.jp/

### FUTURES PLAZA

私は、商品取引業界で仕事をさせていただいて早いもので21年が経ちますが、営業、人事、総務、監査、投資顧問といろいろな経験させていただきました。現在は採用の仕事をさせていたでありますが、採用の仕事は長年やっていますと、この業界は社会から本当に必要とされているのかと考えさせられることが幾度となくあります。



### 社会に認められる業界づくり

日本アクロス 人事部長 望月 保男

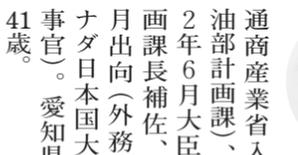
私は、商品取引業界で仕事をさせていただいて早いもので21年が経ちますが、営業、人事、総務、監査、投資顧問といろいろな経験させていただきました。現在は採用の仕事をさせていたでありますが、採用の仕事は長年やっていますと、この業界は社会から本当に必要とされているのかと考えさせられることが幾度となくあります。

始めた18年前のそれと比べると変わっていないからです。評価がなんら変わっていないという事は、商品取引所法等の改正により表面上では変わったように見えても根本的な部分でなんら変わっていないということになるのではないのでしょうか。

も他方本願であり、いつまでも改革はできないと思えます。世間に認められる業界「社会に必要不可欠な業界」になるためには「顧客のニーズは何なのか」「顧客のために」とはいつだってどういふことなのかを今一度真剣に考え、それを実行に移すことが何よりも重要になるのではないのでしょうか。

経済産業省は5月8日、商品先物行政を担当する商務情報政策局商務課長に前カナダ大使館参事官の近藤智洋氏を、同日付で発令した。

### 経済産業省商務課長に 近藤智洋氏



近藤 智洋(こ ともひろ) 氏略歴。東京大学 卒、1987年4月通商産業省入省(石油部計画課)、2000年6月大臣官房企画課長補佐、03年5月出向(外務省在カナダ日本大使館参事官)。愛知県出身、41歳。

### 二家勝明・先物協会会長 退任を表明

## 新ビジョンを新会長のもとで

### 時代を先取りした経営感覚を

皆様にご報告する前に新聞報道等が先行する形になってしまい、本心に苦ししいのですが、先物協会の会長職を今限りで退任したいと思っております。平成13年6月に多々良義成会長から会長職を引き継ぎ、5年間にわたり務めてまいりましたが、この間、いろいろな面でご支援、ご協力いただきました皆様方には本当に感謝いたしております。誠にありがとうございます。

皆様がからみまると、突然の退任に映るかもしれませんが、先物協会発足時より、ビジョン検討委員会委員長、制度政策委員会委員長として、2005年までの商品先物取引業の短中期ビジョンの策定にかかわ



5月22日の記者会見

会長在職中に「商品取引所法制度50周年」という節目の節目を迎えることができ

### 50年が凝縮されたような変化

最後にありますが、私も一取引員ですので決して取引のマイナスになるようなことは絶対にしてこなかった

自由裁量を強く訴える 法改正の施行で、事前規制から事後規制へと大きく転換する中、違反行為が判明したときには、長期の営業停止などの厳格な行政処分が行われ、また、検査体制も拡充されてきており

### ひとつの区切りを迎えた

その後、会長として短期ビジョンを核として協会運営にあたりま

次期を務めますと7年の長期にわたることから、丁度潮時と考えた次第です。戦略会議の検討結果について

二家勝明・先物協会会長は、5月22日の記者会見と同31日の理事会で今期をもって会長職を退任することを表明した。後任については6月15日の通常総会で正式に決まるが、理事会で二家会長が加藤雅一副会長を推薦し、全員一致で承認した。理事会での挨拶要旨は次の通り。

### JCCH

## 5,000億円台維持

### 5月末の先物預託証拠金

クリアリングハウス、日本商品清算機構(JCCH)へ預託される全国6商品取引所の取引に関する証拠金残高は、4月に5,400億円台に乗ったが、5月末現在では前月未比約5%減つた。しかし、引き続き、5,000億円の大台を維持している。

### 月末の預託証拠金額残高の推移

月	未	証拠金計
2005年	5月	367,283,764
	6月	376,254,907
	7月	370,156,422
	8月	368,030,314
	9月	383,713,602
	10月	401,763,140
	11月	461,604,650
	12月	474,042,458
2006年	1月	503,332,177
	2月	469,313,509
	3月	496,838,656
	4月	541,845,833
	5月	515,359,981

新会長に加藤雅一・岡藤商事会長を推薦 全力を挙げて業界に寄与 理事会での退任挨拶のあと、二家会長は、すぐに後任について言及、早く公表した方がいいとの考えで、加藤雅一・先物協会副会長(岡藤商事会長)を推薦、異議なく承認した。

常任の厳しい時期だが、総会で承認されれば全力を挙げたい。二家会長の「苦勞を目的に」にみえてきたので、本当にご苦勞様でしたとの気持ちでいっぱいだと述べた。

### 先物春秋

直木賞作家の石田衣良さんは、母親の影響で相場を始めた。雑誌のインタビューに答えて語っている。「僕の家は下町で小さなスーパーを営んでいたのですが、母が家の仕事のほかに商品先物で小遣いを稼いでいたんですよ。母はなかなかいい相場師だったようです」

「相場は生き残るための学問だ。本当にいい教材になりましたよ」▼相場の世界を描いた『波のうねり』の魔術師は自らの相場体験が結実した作品である。そこに登場する老相場師のセリフ。商売でも相場でも大切なことは仕入れた値段より高く売ることです。この当たり前のことがやっかいなのだ。老人は若い相場師に「値動き感覚」を磨けと説く。一見無秩序な数字の絶えざる上下運動に過ぎない相場の波動から上げ潮と引き潮の潮目を見極めるのが相場の要諦である▼「一国の盛衰や私企業の成長と停滞、そして僕たち一人一人の人生にも、細やかな波の上下と潮目のうねりがある。老人は相場の波動に人生の縮図を見る。そして、こうつぶやく。「もう百年生きられたら、毎日数字の変化だけ追って、毎日いくつだ」。相場には撃たれても、裏切られても憎み切れない摩訶不思議な魅力が秘められているのだ(泉)